観光協会および観光関連団体

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)	〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1(沖縄産業支援センター2階) http://www.ocvb.or.jp	☎098-859-6123 F098-859-6221
OCVB東京事務所	〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1(東京交通会館3階)	☎03-5220-5311 F03-5220-9720
那覇空港観光案内所	〒901-0142 沖縄県那覇市鏡水150(那覇空港国内線旅客ターミナルビル1階) (年中無休／9:00～21:00)	☎098-857-6884 F098-857-9058
沖縄観光情報センター	〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目20-6(カフーナ旭橋A街区2階) (年中無休／9:00～19:00)	☎098-953-8271
沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課	〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 http://www.pref.okinawa.jp	☎098-866-2764 F098-866-2765
一般社団法人 嘉手納町観光協会	〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町屋良1026-3 道の駅かでな1F https://go-kadena.com/	☎098-989-5353 F098-989-5263
一般社団法人 国頭村観光協会	〒905-1412 沖縄県国頭郡国頭村字奥間1569番地1 https://kunigami-kanko.com	☎0980-41-2420 F0980-41-2535
一般社団法人 今帰仁村観光協会	〒905-0401 沖縄県国頭郡今帰仁村仲宗根 230-2 今帰仁村コミュニティセンター1F https://www.nakijinson.jp	☎0980-56-1057 F0980-56-1255
一般社団法人 伊江島観光協会	〒905-0503 沖縄県伊江村川平519-3 https://ie-kankou.jp	☎0980-49-3519 F0980-49-5668
一般社団法人 本部町観光協会	〒905-0212 沖縄県本部町字大浜881-1 http://www.motobu-ka.com	☎0980-47-3461 F0980-47-3412
公益財団法人 名護市観光協会	〒905-0017 沖縄県名護市大中1-19-24(名護市産業支援センター1階) https://www.nagomun.or.jp/	☎0980-53-7755 F0980-52-1797
NPO法人 東村観光推進協議会	〒905-1204 沖縄県東村字平良890-1 https://higashi-kanko.or.jp/	☎0980-51-2655 F0980-51-2656
一般社団法人 恩納村観光協会	〒904-0411 沖縄県恩納村字恩納5973 https://www.onnanavi.com/	☎098-966-2893 F098-966-2892
一般社団法人 北谷町観光協会	〒904-0115 沖縄県北谷町字美浜16-2 北谷町美浜メディアステーション2階 https://chatantourism.com/	☎098-926-5678 F098-926-5679
一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	〒904-0031 沖縄県沖縄市上地1-1-1(コザミュージックタウン1階) http://www.koza.ne.jp/	☎098-989-5566 F098-989-5567
一般社団法人 北中城村観光協会	〒901-2306 沖縄県中頭郡北中城村ライカム1番地 https://www.kitapo.jp/	☎098-923-5888 F098-923-5839
一般社団法人 中城村観光協会	〒901-2407 沖縄県中頭郡中城村字安里190(中城村民体育館内) https://www.nakagusukukk.com/	☎098-975-5309 F098-975-5308
一般社団法人 うるま市観光物産協会	〒904-2203 沖縄県うるま市川崎468 いちゅい具志川じんぶん館2階 http://uruma-ru.jp/	☎098-989-1148 F098-989-1149
一般社団法人 読谷村観光協会	〒904-0302 沖縄県読谷村字喜名2346-11(読谷村地域振興センター1階) http://www.yomitan-kankou.jp	☎098-958-6494 F098-979-6558
一般社団法人 宜野湾市観光振興協会	〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-10-27 宜野湾マリン支援センター1階 https://ginowan.info	☎098-897-2764 F098-897-0769
一般社団法人 浦添市観光協会	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-13-1(浦添市産業振興センター 結の街4階) http://www.urasoenavi.jp/	☎098-874-0415 F098-917-0874
一般社団法人 那覇市観光協会	〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-2-10(てんぶす那覇1階) http://www.naha-navi.or.jp/	☎098-862-1442 F098-880-6893
一般社団法人 豊見城市観光協会	〒901-0225 沖縄県豊見城市字豊崎1-1162 http://www.tomigusuku-okinawa.jp	☎098-856-8766 F098-851-8830
一般社団法人 糸満市観光協会	〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町4-20-4 https://www.itoman-okinawa.jp	☎098-840-3100 F098-987-1278
DMOなんじょう株式会社	〒901-1495 沖縄県南城市佐敷新里1870番地(南城市役所1階) https://dmonanjo.jp/	☎098-948-4660 F098-948-4644
一般社団法人 南風原町観光協会	〒901-1112 沖縄県南風原町字本部158 http://www.haebaru-kankou.jp/	☎098-851-7273 F098-851-7109
一般社団法人 粟国村観光協会	〒901-3702 沖縄県粟国村字東1142 https://agunikankou.wixsite.com/aguni	☎098-896-5151 F098-896-5161
一般社団法人 座間味村観光協会	〒901-3402 沖縄県座間味村字座間味95(座間味村離島振興総合センター2階) https://www.zamamitourism.com/	☎098-987-2277 F098-987-2278
一般社団法人 渡嘉敷村観光協会	〒901-3501 沖縄県島尻郡渡嘉敷村渡嘉敷346 https://tokashiki.info/	☎098-987-2332 F098-987-2342
一般社団法人 久米島町観光協会	〒901-3108 沖縄県島尻郡久米島町字比嘉160-57 http://www.kanko-kumejima.com	☎098-851-7973 F098-851-7146
一般社団法人 宮古島観光協会	〒906-0304 沖縄県宮古島市下地字上地472番地39 下地庁舎2階 http://www.miyako-guide.net	☎0980-79-6611 F0980-79-6613
一般社団法人 石垣市観光交流協会	〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-4(石垣市商工会館1階) http://www.yaeyama.or.jp/	☎0980-82-2809 F0980-83-6296
一般社団法人 宜野座村観光協会	〒904-1304 沖縄県国頭郡宜野座村字漢那1646-4 https://ginozanavi.com	☎098-968-8787 F098-968-8331
一般社団法人 竹富町観光協会	〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町11番地1 竹富町役場3階 http://painusima.com/	☎0980-82-5445 F0980-82-5472
一般社団法人 与那国町観光協会	〒907-1801 沖縄県与那国町字与那国437-17(与那国町複合型施設内1階) http://weicome-yunaguni.jp/	☎0980-87-2402 F0980-87-2445

バリアフリー旅行コーディネートサービス

ハンディキャップをお持ちの方も沖縄での修学旅行が楽しめるよう、障がいレベルにあった旅程やサポートを提案します。
各種サービスについては、直接お問い合わせください。

一般社団法人Kukuru(くくる)
TEL 098-888-5996
http://www.kukuruokinawa.com/
滞在中の病院探しのお手伝い、
介護タクシーの手配、同行介護サービスなど

NPO法人 バリアフリーネットワーク会議
TEL 098-929-1140
https://barifuri-okinawa.org/
手助けを必要とする方たちの
余暇活動を包括的に支援

沖縄バリアフリーツアーセンター
TEL 098-858-7760
https://barifuri-okinawa.org/wbfntc/
バリアフリー観光案内サービス、
介護タクシーやレンタカー手配、入浴介助など

沖縄県の教育旅行民泊について

沖縄県では教育旅行民泊の取扱指針を制定しました。詳しくはホームページをご確認ください。

※掲載した情報は、令和８年 10 月現在のものです。詳細につきましては、各施設・団体へお問い合わせください。

※許可なく、転載・複製することを禁じます。(初版 2018.10)

printed in Japan 2026.10















触れて 感じて 学べる

おきなわ修学旅行 NAVI ナビ

Let's go to Okinawa!

こころに届く リアルなマナビ

School. Class. Name.

沖縄情報
自然環境
文化
歴史
平和
産業

Be. Okinawa

沖縄県 OCVB

おきなわ修学旅行ナビ 検索

https://education.okinawastory.jp

修学旅行ナビの使い方

この修学旅行ナビをうまく活用して、多くのワクワクや感動体験をしよう。

NAVI 1

沖縄での修学旅行が大切な思い出になるように…

修学旅行ナビは、好奇心を引き出し、出発前に沖縄の歴史や文化を学ぶ、修学旅行をサポートする資料です。修学旅行がステキな思い出となるよう、ぜひ活用しよう。

NAVI 2

自主研修をもっと楽しもう

日常生活にはない新しい発見や感動、友情を深めること、美味しいものを食べることなども、修学旅行の楽しみです。そのような機会がたくさん得られるようにしっかりとプランを立てよう。

NAVI 3

自主研修プラン作りに取り組もう

班のメンバーと１つのテーマを共有しながら、好奇心や探究心を持って行動することが大切です。
修学旅行ナビを参考にしながら事前にプランを作り、準備万全にして取り組もう！

NAVI 4

役に立ちそうな項目だけ利用してもOK！

修学旅行ナビを初めから読み進めても、また興味がわいた分野のページから読んでもOK。自主研修プランのために利用しよう。
また先生の指示にしたがって活用しよう。

Make a plan

自主研修（班別研修）プランって、どう進めるの？

班のメンバーと協力して、オリジナルのテーマを決めて、具体的な自主研修プランを作ろう！きっと充実した旅行になるよ。

STEP.1 事前学習をしよう

まずは沖縄のことを学習して、知りたいこと、疑問に思うこと、体験したいことなどを自分の視点から探してみよう。



STEP.2 テーマ検討の準備

班のメンバーが決まったら、一人ひとりが自主研修のテーマにしたいことについて意見をかわし、みんなでテーマを決定しよう。



STEP.3 自主研修プラン作り

テーマが決まったら、それに関する下調べをしよう。
また、候補地のリストを作り、その場所や移動時間などを把握しよう。



STEP.4 自主研修当日

いよいよ計画したプランを元に、自主研修スタート！
気づいたこと、体感したこと、思ったことなどを日誌に書き留めよう。



STEP.5 まとめ

事前学習から自主研修後までのことを整理しよう。
修学旅行での思い出を、日誌や写真を見ながら書き出してみよう。



STEP.6 発表

まとめたものに、成果を書いてみよう。また、自己評価や班のメンバーからの評価についても話し合い、発表会に向けて準備をしよう。



事前にもっと沖縄のことを知りたいなら、「おきなわ修学旅行ナビ」▶▶ https://education.okinawastory.jp へアクセス！

こころに届く リアルなナビ



自然環境
サンゴ礁の海に亜熱帯の森、珍しい動植物が生息する沖縄。豊かな自然を観察しながら環境問題も考えてみよう。



平和
多くの県民が犠牲となった沖縄戦。同じ過ちを繰り返さないために沖縄戦を通して平和を考えてみよう。

触れて 感じて 学べる

おきなわ修学旅行 NAVI

Let's go to Okinawa!

文化
伝統工芸、祖先崇拝、食文化など、沖縄には本土とは異なる独特の風習や文化があります。
沖縄文化を体験しよう。

歴史
琉球王国の時代、沖縄戦、米国統治を経て本土復帰へ。激動の時代を歩んだ歴史を知り、理解を深めよう。

産業
農業や漁業をはじめ訪れる人をもてなす観光業など沖縄の産業について学んでみよう。



CONTENTS

MOVIE 動画でも学べる

沖縄情報
沖縄県ってどんなところ？ 2
沖縄本島・離島のエリア情報 4
本島南部・那覇エリア／本島中部エリア／本島北部エリア／宮古エリア／本島周辺離島エリア／八重山エリア

自然環境
かけがえのないサンゴ礁の海 10
亜熱帯の森は生物の宝庫 12

文化
暮らしに根づく旧暦文化 14
外国の影響を受け育まれた食文化 15
琉球王国時代から受け継がれる伝統芸能 16
伝統を守りながら進化する工芸品 17

歴史
琉球王国 ―独自の文化を築いた王国― 18
太平洋戦争 ―住民を巻き込んだ沖縄戦― 20
米国統治 ―日本への復帰から現在― 22

平和
沖縄の平和について学ぼう 24
沖縄県平和祈念公園ってどんなところ？ 25
地域・平和ガイド等一覧 26

産業
特有の気候や自然が育む産業 28
沖縄県の暮らしを支える観光業 28
物流・IT・科学技術の拠点を目指して 29

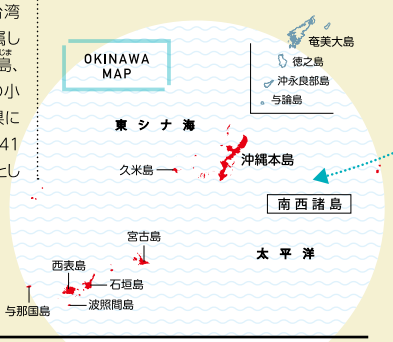


Q どのくらいの大きさ？

A 全国で4番目に小さい県です。

沖縄県の総面積は2,282.16㎢（国土地理院、令和8年 ）で、香川県、大阪府、東京都に次いで全国で4番目に小さいのですが、東京都を中心に東北から中国地方までを覆ってしまうほど広大な県域を持っています。九州と台湾の間に弓なりになった南西諸島に属しており、沖縄本島、宮古島、石垣島、西表島の4つの大きな島と約160の小さな島で構成されています。沖縄県には、県庁所在地の那覇市をはじめ、41の市町村があります。那覇市を中心とした半径1,500kmの圏内には、上海や台北、香港、ソウル、マニラなど、アジアの主要都市があり、沖縄は中国や東南アジアなどに最も近い距離にある日本の南の玄関と言えます。







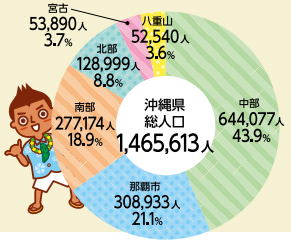
Q 人口はどのくらい？

A 人口約146万人、出生率は全国1位です。

沖縄県の人口は、太平洋戦争前は50万人台でしたが、戦争で大きな被害を被ったため激減してしまいました。しかし、その後年々増加し、昭和47年の日本復帰時には約96万人、昭和49年には100万人を突破、令和7年には約146万人となっています。また、令和2年の厚生労働省の調べでは、平均寿命は女性87.88歳、男性80.7歳、人口1,000人あたりの出生率は10.3（全国1位）となっています。

● 地区別人口の割合

資料：沖縄県企画部統計課「県推計人口」（令和8年7月1日現在）





慶良間諸島国立公園

Q どんな気候、自然環境なの？

A 平均気温23.8℃、亜熱帯の自然豊かな島です。

亜熱帯海洋性気候に属する沖縄県は、サンゴ礁の美しい海に囲まれた自然豊かな島です。特に多くの固有生物が生息する県北部のやんばる地域や西表石垣地域、慶良間諸島は国立公園にも指定されています。年平均気温23.8℃と一年を通して温暖で、国内屈指のリゾート地としても人気です。春から夏にかけては比較的雨量が多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって毎年数個の台風が襲来します。

P10～をチェック!

● 那覇市の気象　資料：気象庁［統計期間 2025］

事項		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温(℃)	平均気温	16.8	16.0	19.4	20.5	24.4	28.6	29.0	29.5	29.7	28.0	23.4	20.1
	最高気温平均	19.4	18.6	22.3	23.6	27.1	31.3	31.8	32.4	32.9	30.8	26.0	22.8
	最低気温平均	14.5	13.9	17.3	17.7	22.0	26.3	26.8	27.1	27.4	25.9	21.1	17.6
月合計降水量(mm)		95.5	76.0	87.5	172.0	325.0	177.5	460.0	223.5	92.0	209.0	165.0	82.0

あらまし 沖縄県ってどんなところ？

日本の南西に位置する沖縄県。東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域には、大小160余の島々が点在しています。沖縄県には、独自の歴史と文化、亜熱帯ならではの自然や風物があります。

Q 独自の歴史や文化があるの？

A 琉球王国時代から諸外国の影響を受け、独自の文化を育みました。

沖縄県はかつて「琉球王国」という国で、中国をはじめ、日本、朝鮮、東南アジア諸国などとの交易によって繁栄しました。そのため、食文化や芸能、工芸、武道など、各国の影響を受けながら独自の琉球文化を形成していきました。また、戦後は 27 年間もアメリカの統治下におかれていたため、街並みやグルメなどにアメリカ文化の影響を感じることができます。

このような歴史的背景によってさまざまな外国文化を融合させてきた沖縄文化は、いろいろな素材を混ぜ合わせて炒める沖縄料理「チャンプルー」になぞらえ、「チャンプルー文化」とも呼ばれています。

P14～、18～をチェック!


首里城


空手


沖縄そば


紅型

Q 産業の特徴は？

A 観光業が中心で多くの観光客が訪れています。

沖縄県の産業の特徴は、第3次産業と第2次産業の建設業の割合が高いことです。第3次産業の中心は観光業で、令和7年度の入域観光客数は、1,093万5,300人となり、これまで最多を記録した平成30年度（1,000万4,300人）に対し9.3%上回り、過去最高の人数規模になりました。

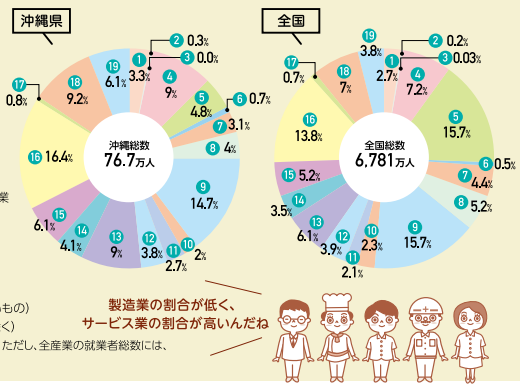
第1次産業の農業は、ランや菊などの花き栽培、ゴーヤーやマンゴーなどの野菜・果物生産が盛んです。漁業はカツオやマグロ漁のほか、もずくは日本一の生産量を誇ります。畜産では豚や肉用牛が出荷されています。

沖縄県は本土と海を隔てた島嶼県であるため、市場が限られている、物流コストが割高になるなど、他県に比べハンデがあるのも実情です。

P28～をチェック!

● 産業別就業者の構成比

資料：総務省統計局 労働力調査（令和6年度）

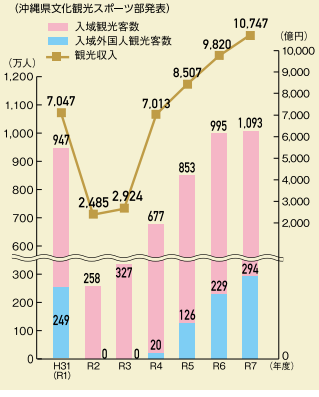


注：グラフは分類不能の産業を除く。ただし、全産業の就業者総数には、分類不能の産業を含む。

製造業の割合が低く、サービス業の割合が高いんだね

● 入域観光客数と観光収入の推移

（沖縄県文化観光スポーツ部発表）



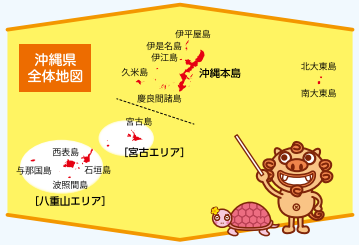
沖縄本島・離島のエリア情報

北部　中部　南部・那覇
宮古　八重山　本島周辺離島

本島北部エリア

2021年世界自然遺産に登録！

沖縄本島の北部地域は山や森が多く、山原（やんばる）と呼ばれています。その3分の1を占めるのが亜熱帯の森。沖縄には国指定の天然記念物が56種類、県指定の天然記念物が50種類あり、貴重な動植物の宝庫でもあります。（2021年現在）



伊平屋島
野甫島
伊是名島

伊江島
古宇利島
水納島

沖縄美ら海水族館

沖縄の海を再現した水族館。巨大なアクリルパネルの水槽「黒潮の海」では世界で初めてジンベエザメとナンヨウマンタの複数飼育に成功しており、そのスケールに圧倒される。

ヤンバルクイナ

やんばる地域だけに生息する飛べない鳥。1981年に新種として発表され、翌年には国の天然記念物に指定。開発や外来生物マングースと野生化したネコによる補食等の原因により絶滅危機に。

本島中部エリア

沖縄県内でも特にアメリカの影響を感じる中部地域は、米軍基地が25％を占めています。勝連城跡や座喜味城跡、中城城跡といった歴史遺産が多くあることも特徴。若者に人気の北谷はショッピングセンターが広がるエリアです。

伊計島
津堅島
久高島

ハーリー

ハーリーとは、漁師が海の恵みに感謝し、航海の安全や豊漁を願って行う伝統行事。旧暦の5月4日に県内各地の漁港で行われ、爬龍船（はりゅうせん）という船に乗って競い合う。

エイサー

沖縄県で旧盆の時期に踊られる民俗芸能。旧盆の最終日（ウークイ）に、若者たちが歌と囃子に合わせ、踊りながら地区の道を練り歩く。太鼓を持って踊るのは基本的に男性、女性は何も持たない手踊りか、地区によっては扇子を使うことも。

首里城公園

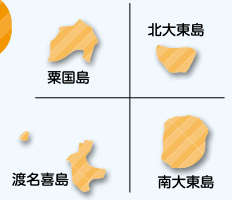
琉球王朝の王城で、沖縄県内最大規模の城であった。1945年の沖縄戦により破壊されたが、1992年に正殿を中心とする建築物、門、城郭が再建され首里城公園として開園した。

本島南部・那覇エリア

沖縄本島南部は、戦時中の激戦地として多くの戦跡や慰霊碑があると共に、琉球の歴史を感じさせる遺跡が多く点在しています。中でも那覇市の首里城公園や識名園などの琉球王朝文化が見所として残っています。

本島周辺離島エリア

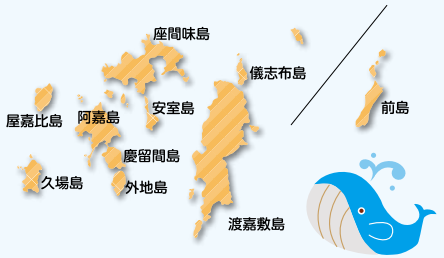
阿嘉島　粟国島　伊江島　伊是名島　伊平屋島
北大東島　久高島　慶留間島　座間味島　津堅島
渡嘉敷島　渡名喜島　野甫島　南大東島　水納島



本島周辺には個性的な島々が点在。琉球王国時代からの神事が強く伝わる久高島や世界有数のマリンスポットとして有名な慶良間諸島などが代表。船や飛行機で本島から気軽にアクセスできるのも魅力。

慶良間諸島

渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島の4つの有人島を中心に構成されており、周辺海域はラムサール条約湿地に登録されている。2014年には、慶良間諸島が国立公園に指定された。世界でも有数の透明度を誇る海は、ダイビングやホエールウォッチングのポイントとして人気が高い。





久米島

全体が県立自然公園に指定されており、宇江城岳の渓流及び湿地がラムサール条約に登録されています。

宮古エリア

宮古島　池間島　来間島
伊良部島　下地島　大神島
多良間島　水納島



水納島
多良間島

多良間の八月踊り

多良間島の豊年祭で旧暦8月8日から3日間行われる。その起源は、厳しい納税を完納したことをねぎらい、翌年の豊作を祈願する奉納行事であったとされている。

北に池間島、南に来間島と橋で渡れる島があります。2015年には西の伊良部島にも伊良部大橋が架かり、島民の生活が便利になりました。国の重要無形文化財に指定されている宮古上布は、代表的な伝統工芸品です。

パーントゥ

宮古島北部・島尻地区に伝わる伝統行事。集落の若者が仮面をかぶり、体中に泥を塗って神の化身となる。その泥を集落中の人々や新築住宅に塗り付け、厄を払い、無病息災を願う祭り。

八重山エリア

石垣島　竹富島　西表島　鳩間島　由布島　小浜島
黒島　新城島　波照間島　カヤマ島　与那国島



2021年世界自然遺産に登録！

石垣島、西表島、与那国島などで構成される八重山諸島は、多くの自然が残っています。石垣島南西部の名蔵アンパルはラムサール条約に登録されており、西表島には、特別天然記念物のイリオモテヤマネコが生息しています。

ミルク

沖縄本島と八重山地域で親しまれているミルクは、海の向こうから五穀豊穣、幸福をもたらすとして崇められている神。ミルクの名前の由来は弥勒菩薩（みるくぼさつ）と言われている。

アンガマ

祖先を表すと言われる翁（うしゅまい）と媼（んみ）の仮面をつけた二人が家々を訪問し、珍問答や踊りなどで祖先の霊を供養する行事。

本島南部・那覇エリア



琉球、沖縄の歴史が凝縮した場所

沖縄の玄関口である那覇市を含む本島南部は、歴史的文化遺産の宝庫です。その一方で、沖縄戦最後の激戦地でもあり、数多くの戦跡も点在します。



沖縄のメインストリート「国際通り」

那覇市にある国際通りは、戦後復興のシンボルとして繁栄を遂げた「奇跡の1マイル」として知られています。名前の由来は通りの中心部にあったアーニーパイル国際劇場。全長約1.6kmの道路で、1953年に改修が始まり、数多くの店が軒を連ねる一大繁華街となりました。現在はお土産物店を中心に、工芸品店、飲食店など幅広いジャンルの店が立ち並んでいます。周辺地区も個性的な通りがあり、アーケード街となっている平和通りは、お土産品店や日用品店が連なり、奥に入ると庶民の台所・牧志公設市場があります。また、平和通りにほど近い壺屋のやちむん通りは、石畳が続く長閑な街並を散策しながら、沖縄のやちむん(焼き物)の歴史に触れることができます。


国際通り


第一牧志公設市場の魚介類

沖縄戦最後の激戦地

第二次世界大戦末期の1945年3月26日に慶良間諸島に上陸した米軍は、4月1日には沖縄本島中部に上陸。北部と中・南部を分断し、日本の主力部隊を本島南部に追い詰め、行き場を失った住民も日本軍と行動を共にしました。その後、3ヵ月近くにわたり、激しい地上戦が繰り広げられ、軍民合わせて20数万人が犠牲となりました。

地上戦の激しさを物語るよう、沖縄には今もなお数多くの戦跡が残り、戦争の悲惨さや平和の大切さを訴える資料館があります。館内では証言映像や写真、手記、遺品などを見ることができます。また、住民や日本軍が避難した壕やガマ(自然洞窟や防空壕)では、集団死があった場所もあり、県内では暗闇の世界を実体験できるガマも残されています。


平和の礎

琉球王国の王都として栄えた首里



首里は栄華を誇った琉球王国の王都で、多くの文化財があります。なかでも首里城は15世紀中ごろに建てられたといわれ、王の居城であり、王国の政治を行う役所でした。中国と日本の建築様式が取り入れられた造りで、戦前には正殿などが国宝に指定されましたが、戦争で焼失。1992年に沖縄の本土復帰20周年を記念して、正殿や主要な建物が復元されました。2000年には残った城郭(石垣)や遺構が「首里城跡」として世界遺産に登録されました。


琉球王国時代の面影を残す石畳道

本島中部エリア



異文化と交差した街は、独特の雰囲気

沖縄本島の中部地域には米軍基地が集中しています。アメリカナイズされた文化と昔から残る街並が交差した、国際色豊かな地域です。

米軍基地が集中

全国の米軍専用施設の約70.3%が沖縄にあり、中でも本島中部は地域面積の約4分の1が米軍基地です。極東最大の米空軍基地・嘉手納基地をはじめ、いくつもの基地が存在し、軍用機の爆音や、軍人・軍属による事件、事故の発生も大きな社会問題となっています。


米軍基地


コザ・ミュージックタウン

チャンプルー文化の誕生

古くから中国や日本の文化を取り入れたり、戦後のアメリカ文化に触れるなど、沖縄は異文化と接し、影響を受けてきました。それらを柔軟に取り入れて生み出されたのが「チャンプルー文化」です。チャンプルーとは沖縄の方言で「混ぜ合わせる」という意味です。

本島北部エリア

2021年世界自然遺産に登録！



豊かな自然に癒される

本島北部は「山原(やんばる)」と呼ばれ、熱帯の木々が生い茂る森は希少な生き物たちの宝庫です。ナンバーワンの人気観光地「沖縄美ら海水族館」があります。


やんばるの豊かな自然

固有種がすむやんばるの森

「やんばる」と呼ばれるエリアの中で、国頭村、東村、大宜味村は降水量が多く、湿度も高いことから、常緑の広葉樹林が多く、森には多様な動植物の他、絶滅危惧種も多く生息しています。やんばるでしか見られない固有種が多いのも特徴です。

人気スポット「沖縄美ら海水族館」

本部町にある沖縄美ら海(ちゅらうみ)水族館では、全長8.8mのジンベエザメやナンヨウマンタをはじめ、大型回遊魚が泳ぐ巨大水槽「黒潮の海」が人気。水族館全体で約710種、12,000点もの海の生き物たちが飼育され、深海の生き物やサンゴも見ることができます。


沖縄美ら海水族館

宮古エリア





県内屈指の美しい海

世界有数の透明度を誇る海が広がり、農業や漁業が盛んな人情味あふれる島です。全日本トライアスロン宮古島大会などのスポーツイベントでも有名です。

海の楽しみ方いろいろ

沖縄本島から南西へ約290kmの地点にある宮古島。その海の美しさは、世界トップクラスといわれています。島を取り囲むようにビーチが点在し、パウダースノーのような白砂が特徴です。毎年海外からも多くの参加者が集まる全日本トライアスロン宮古島大会では、与那覇前浜ビーチの水泳から競技を開始するため、その海の美しさは国内外に知られるようになりました。また、ダイビングスポットとしても人気を集め、透明度抜群の海を楽しむ観光客が数多く訪れます。

宮古島は農業も盛んで、人気の高い農産物としてマンゴーが挙げられます。その高い品質から、高級品として全国的に流通しています。


与那覇前浜ビーチ

国内最長の「伊良部大橋」開通

2015年1月、宮古島と隣りの伊良部島をつなぐ、伊良部大橋が開通しました。無料で渡れる橋としては国内でもっとも長く、3,540mもあります。

これまで船で行き来するしかなかった伊良部島では橋の開通により、島民の通院や通学の負担が軽くなりました。伊良部大橋ができたことにより、宮古島を含む、周囲の5つの島と陸路でつながりました。


伊良部大橋

八重山エリア





個性豊かな10の有人離島

人気観光地の石垣島、東洋のガラパゴス・西表島、日本最西端の地・与那国島、有人島最南端の波照間島など、自然と独自の文化が残る八重山エリアです。

それぞれの島に豊かな文化と自然

サンゴ礁に囲まれた八重山の島々は、それぞれが個性的な表情を持っています。その中心を担う島が石垣島。美しい入り江が広がる川平湾は、世界的に権威のある観光ガイド、ミシュランの三つ星観光地にも選ばれた名勝です。西表島は県内で沖縄本島に次ぐ2番目の広さを誇ります。島の約90%が亜熱帯の森に覆われ、国の特別天然記念物・イリオモテヤマネコの生息地として知られています。


竹富島

石垣島から船で約10分と最も近い竹富島は、赤瓦屋根の民家と石垣という沖縄の原風景ともいうべき集落が残っており、重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。また日本最南端の有人島で「果てのうるま（サンゴ）」の意味を持つ波照間島、日本最西端にあり晴れた日には台湾の島影が見える与那国島のほか、小浜島、黒島、新城島、鳩間島、竹富島など、小さな島々が点在しています。

伝統芸能や祭りが盛んな島々

それぞれの島に伝わる歌や踊り、祭りの数々は独特なもので、季節ごとに行われます。豊年祭、アンガマ、ムシャーマや、国の重要無形民俗文化財の結願祭、節祭（シチ）、種子取祭（タナドゥイ）など、その種類はさまざまです。また、県立八重山農林高校には郷土芸能部があり、全国高等学校総合文化祭に出場し優秀賞を受賞するなど、若い世代も郷土芸能を守る取り組みを進めています。


ムシャーマ

本島周辺離島エリア



久米島

島全体が県立自然公園に指定


ハテの浜

久米島は、那覇市の西、約100kmに位置し、島の周囲48km、人口約6,856人（2026年6月末現在）の島。那覇から飛行機で約30分、フェリー直行便では2時間50分程度と比較的近い距離にあります。1983年に島全体が県立自然公園に指定され、島の北西部にある渓流・湿地はラムサール条約にも登録されています。東洋一美しいとも言われている「ハテの浜」や国の重要無形文化財にも指定された「久米島紬」、世界唯一の海洋温度差発電実証実験施設など、豊富な資源に恵まれています。

慶良間諸島

沖縄戦で最初の上陸地となった島


座間味上陸の地の碑

沖縄本島から西方約40kmの東シナ海上に点在する大小30余りの島。人の住んでいる島は、渡嘉敷、座間味、阿嘉、慶留間の4つです。那覇に近い渡嘉敷島までなら船で約35分。座間味島、阿嘉島までは1時間くらいです。

美しい慶良間の島々ですが、1945年の沖縄戦の際にはアメリカ軍が最初に上陸し、住民が悲惨な集団死（集団自決）をとげたという、悲しい歴史もあります。





伊江島

中央にそびえる山は島のシンボル

沖縄本島北部、本部半島の北西約9kmに位置し、イージマタッチューの名で親しまれている標高172mの城山がそびえ、特徴的な景観を見せています。


伊江島のシンボル城山（イージマタッチュー）

伊平屋島・伊是名島

琉球王朝時代を築いた王統発祥の地



有人島としては、沖縄県の最北端にある伊平屋島、その隣にある伊是名島は、琉球王統発祥の地。どちらの島も肥沃な土地に恵まれ、サトウキビや稲作を主体とする農業、モズクの養殖がおこなわれています。


伊是名の風景

また、伊是名島には猛毒ヘビであるハブがいません。原因は解明されていませんが、琉球列島が太古の時代に何度も隆起と沈降を繰り返したことで、海水で一掃されたのではないかという説があります。

沖縄の 自然環境 について学ぼう

**サンゴ礁が広がる青い海と白い砂浜、
そして亜熱帯の湿地帯。
沖縄の美しい自然は人々を魅了し、
また多くの人に守られています。**



慶良間諸島の海

MOVIE 動画でも学べる

知ろう かけがえのないサンゴ礁の海

白い砂浜と青のグラデーションが印象的な沖縄の海。この見事な景観を作り出しているサンゴの生態を学び、美しい海をみんなで守っていきましょう。

美しい海を作り出すサンゴ礁と深刻化する環境問題

世界有数の透明度を誇る沖縄の美しい海には色とりどりの**サンゴ**が生息しています。サンゴは触手（しょくしゅ）などに毒針を持つ**刺胞動物**（しほう）の一種で、クラゲやイソギンチャクと同じ仲間です。宝石として珍重されるアカサンゴや柔らかい体を持つオオウミキノコ、岩のようなサンゴ礁を作り上げるミドリイシなどさまざまで、日本に生息する約400種のサンゴのうち**380種以上が沖縄に生息**しているといわれています。サンゴは触手を伸ばして海中のプランクトンを食べ、体内に共生（きょうせい）している褐虫藻（かっちゅうそう）が光合成を行い生活します。そしてサンゴやサンゴにすむ水中生物を目当てに魚が集まり、さらにその魚を食べる大きな魚が集まってきます。サンゴ礁はまさに海洋生物の宝庫なのです。



彩りの美しいサンゴ



サンゴの群生

このような美しい海も近年、**環境問題**が深刻化しています。



赤土流出

その一つが、開発現場や農地からの**赤土流出**の問題。赤土は南西諸島特有の土壌で、雨によって浸食されやすく、いったん流出するとすぐには沈みません。海や砂浜を赤く染めて景観を損なうばかりか、赤土が堆積すると魚やサンゴが生きられなくなります。さらに養殖もずくなどの水産業にも悪影響を及ぼします。このような状況を受け、沖縄県では条例を制定し赤土の流出を抑制しようと努力しています。

サンゴ礁の再生を目指したさまざまな活動

2010年に公開された映画『てぃだかんかん』により、注目が集まった**サンゴの養殖**。映画のモデルとなった金城浩二さんは、世界で初めてサンゴの人工養殖と産卵に成功しました。現在では、金城さんが活動を行っている「さんご畑」をはじめ、多くの団体が**サンゴ礁再生プロジェクト**に参加し、サンゴの生存率は上昇しています。しかし、むやみにサンゴを養殖・移植すればいいというものではありません。サンゴを採捕するには特別採捕許可を申請することを必要とし、移植後は管理を行うことが大切です。サンゴの移植は日本サンゴ礁学会の定める「造礁サンゴの移植に関してのガイドライン」を遵守した活動となっています。（写真提供：読谷村 さんご畑）



移植放流用のサンゴは沖縄県産

愛情をこめて育てられたサンゴは、5cm程に成長したら海へ移植。植えつけた環境に合った形を作りながら成長します。



スクスクと成長するサンゴを観察

読谷村にあるさんご畑では、100種類以上、5万株を超えるサンゴと、サンゴにすむエビや貝類などの観察ができます。

詳しくはこちら 【サンゴ移植マニュアル】
http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/documents/sango_isyoku_manual.pdf

浅瀬にすむ危険な生物

サンゴ礁にはいろいろな生物がすんでいます。中には猛毒を持っているものもいます。触ったり、イタズラしたりしないようにしましょう。

資料提供：「沖縄県衛生環境研究所」



ハブクラゲ
5～10月頃に発生します。透き通っているので発見しにくく要注意。触ると激痛があり、みみず腫れができます。



ガンガゼ
長い棘は折れやすく毒を持っており、刺されると激痛が持続し、発赤や腫れ、水疱などの症状を起こすこともあります。



アンボイナガイ
毒銛に刺されると数十分後から麻痺が起こり、次第に歩行や呼吸が困難になり、全身麻痺、呼吸困難になる危険性も。



ヒョウモンダコの仲間
きれいな模様の小さいタコですが、噛まれると毒によって麻痺や呼吸困難になる危険性があります。

COLUMN 回遊魚たちが泳ぐ世界最大級の水槽

沖縄周辺の海は「巨大な暖流（黒潮）」「サンゴ礁」「深海」という大きく3つの要素から構成されていて、そこには世界有数の生物種が生息する神秘的な世界が広がっています。それを再現した展示を行っているのが沖縄美ら海水族館です。世界最大級の大きさを誇るメイン水槽「黒潮の海」には、魚類最大のジンベエザメやエイの大型種ナンヨウマンタをはじめ、約80種もの海の生物が飼育されています。また水族館では、生物の繁殖に関する研究調査も進められています。



黒潮の海



熱帯魚の海

沖縄美ら海水族館
TEL：0980-48-3748
https://churaumi.okinawa

おもしろ写真を 撮ってみよう！



ナンヨウマンタは餌を食べるとき、効率よく食べるために水中でぐるんと後方回転するんだって！

9時30分の「マンタの給餌解説」プログラムで見られるよ！



画像提供：国営沖縄記念公園（海洋博公園）：沖縄美ら海水族館

知ろう 亜熱帯の森は生物の宝庫

沖縄の魅力は海だけではありません。豊かな自然が残る沖縄の森では、亜熱帯気候特有の貴重な動植物が生息しています。

沖縄ならではの希少な動植物と自然環境を守るエネルギー

沖縄はかつて大陸と陸続きでしたが、大昔に大陸から切り離され、その後小さな島々に分かれていく中で、南北に点々と続く島々となりました。大陸と分断されたため、独自の進化をとげてきた動植物がたくさんいます。



亜熱帯の森（やんばる）

やんばるとは、沖縄本島北部のことで、山や森が多いことから、山原（やんばる）といいます。



イジュの花



イタジイの森

20世紀最大の生物学的発見といわれ、西表島だけに生息する**イリオモテヤマネコ**。沖縄本島北部（やんばる）の固有種の鳥である**ヤンバルクイナ**や**ノグチゲラ**。日本最大の甲虫の仲間として知られる**ヤンバルテナガコガネ**。これらは絶滅危惧種でもあり、保護のための調査や活動が行われています。また、沖縄では珍しい植物もたくさん見られます。石灰岩地帯に生育するガジュマルや、パイナップルに似た実をつけるアダン、ジャングルを連想させるマングローブのほか、ハイビスカスやブーゲンビレアなどの色鮮やかな花々も沖縄らしい植物です。「生物の宝庫」ともいわれる沖縄の豊かな自然を、いつまでも大事に残していかなければなりません。

環境に配慮したエネルギー対策の観点から沖縄県では、各所に**風力発電**や**太陽光発電システム**を設置し、企業や一般家庭などへの本格普及を目指しています。また、宮古島ではサトウキビを原料とした燃料用**バイオエタノール**の生産・利用を進めています。このような**再生可能エネルギー**は、発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして期待と需要が高まっています。



太陽光発電



サトウキビ畑

沖縄の豊かな自然に直接ふれるエコツーリズム

沖縄では、たくさんの**エコツーリズムの体験プログラム**が実施されています。希少な動植物が観察できるトレッキングやマングローブの林を探検するカヌーツアー、サンゴ礁を観察できるダイビングやシュノーケリングなどを県内各地で体験することができます。地元の人とふれあいながら沖縄の自然を楽しみましょう。



やんばるマングローブカヌー体験

カヌーを漕ぎながら、沖縄本島最大規模を誇る慶佐次湾のヒルギ林（国指定天然記念物）を間近で観察できます。



トレッキング

亜熱帯のジャングルのようなトレッキングルートを、ツアーガイドの案内で動植物を観察しながら歩きます。

絶滅が心配される野生動物

貴重な野生動物が多くいる沖縄県。絶滅が心配されている野生生物の保護を行うため、沖縄県では「沖縄県版レッドデータブック」を作成しています。



ヤンバルクイナ　写真提供：宮城国太郎

胸から腹にかけての白と黒のしま模様と、真っ赤なくちばし、目、足が特徴で全長約35cm、体重約450gです。翼は丸くて短く胸筋も発達していないため、ほとんど飛ぶことができません。1981年に沖縄島北部の常緑広葉樹の森林で新種として発見され沖縄島のみに分布する固有種。マングースの防除等の取り組みにより個体数はわずかながら回復傾向にあります。



イリオモテヤマネコ

暗（あん）褐色（かっしょく）の斑紋（はんもん）が全身に散在し、後頭部から額、眼の周りには白と黒の縞（しま）模様が特徴で体重3～4kg、頭胴長50～60cmです。西表島の固有種で、生息数が極めて少ない希少な野生生物で、生息数は100頭前後と推測され、絶滅の危機が高まっています。国の特別天然記念物に指定されています。



ノグチゲラ

1属1種の沖縄島固有種。沖縄島北部のやんばる地域のみに分布する鳥で1977年、国の特別天然記念物に指定されました。全長30cm、翼長15～17cmほどで、キツツキ科のノグチゲラ属に属する一属一種の鳥類です。



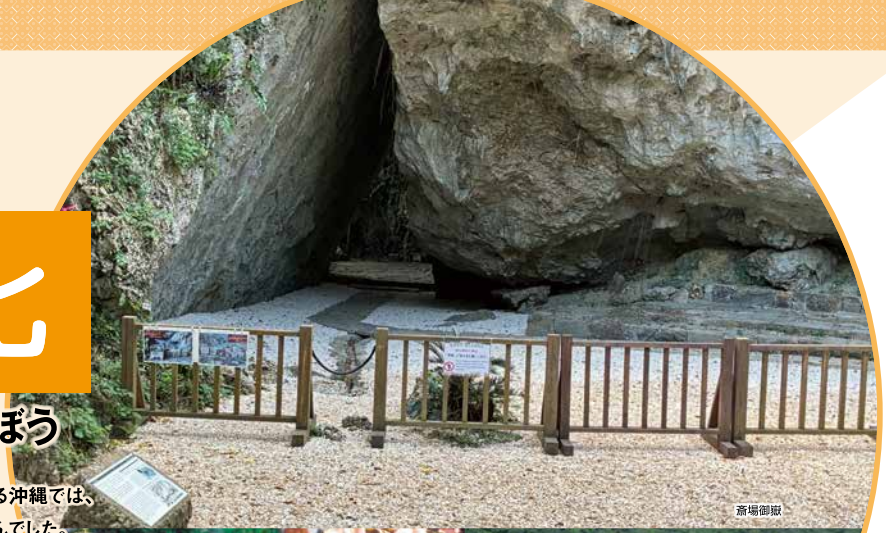
リュウキュウヤマガメ

沖縄本島北部や渡嘉敷島、久米島だけに分布しているヤマガメの仲間で、日本の固有種とされている、甲長15cmほどの陸生のカメです。道路での交通事故、側溝への落下による死亡などが、生存への脅威となっています。

詳しくは沖縄県環境部自然保護課
HP（https://www.pref.okinawa.lg.jp/kurashikankyo/kankyo/1004621/1004632.html）

沖縄の文化について学ぼう

日本とアジアの中間にある沖縄では、
古くから海外交易がさかんでした。
今も残る伝統工芸や芸能から、
琉球王国の面影が感じられます。


斎場御嶽


豊年祭　資料提供：西原町立図書館


大宣味村の海神祭


重箱料理



MOVIE 動画でも学べる

知ろう 暮らしに根づく旧暦文化

中国の影響を受けた沖縄では、お盆などの行事は今も旧暦で行われています。そして人々の暮らしには、先祖代々、そして地域に受け継がれた伝統を大切にする心が息づいています。

生活に結びつく祖先崇拝

独特の**祖先崇拝**の様式を持つ沖縄で、本土と大きく異なるのはお墓の形です。昔ながらの大きな石造りの**亀甲墓**は、母体をかたどったものといわれています。旧暦3月の**清明祭（シーミー）**は、中国から伝わった祖先供養の行事で、お盆、正月と並ぶ沖縄の三大行事のひとつです。祖先の墓に出向き、各家庭で持ち寄ったご馳走（重箱料理）をお供えしてお墓参りをします。その後は親族揃って墓庭で賑やかに食事を行います。


清明祭のお供え物

また、各地域には、集落の先祖を祀る**御嶽**と呼ばれる聖地があり、家々には**火の神（ヒヌカン）**という台所に祀られている神様がいます。**先祖を思う気持ち**や**神様を大切にする心**が、生活に密着しています。

守り継がれる地域の祭り

名称や衣装、音楽も独特な祭りが多く、今も祭りは集落ごとに受け継がれ、その様式も沖縄独特といえるでしょう。四方を海に囲まれた海洋県・沖縄では、**ニライカナイ**といって海のはるかかなたに神々が住み、人々に恵みをもたらすとされています。ニライカナイの神々を迎える祭りに、八重山の**節祭**や**豊年祭**、県内各地の**海神祭（ウンジャミ）**などがあり、五穀豊穣や豊作への感謝の思いを捧げます。珍しい形式の祭りとして、宮古島市島尻地区で行われる**パーントゥ・プナカ**は、全身につる草を巻き泥を塗ったパーントゥが集落内を回り、人々や新築の家に泥を塗り厄払いをします。よく知られている**エイサー**は旧盆に集落内を練り歩き、**唄や踊りで供養**するものです。


エイサー

知ろう 外国の影響を受け育まれた食文化

琉球王国時代から伝わる琉球料理だけでなく、戦後、アメリカ統治時代に米軍によってもたらされた欧米風の料理もあり、沖縄には他県とは異なる多様な食文化があります。

おいしい食は「命薬（ヌチグスイ）」

沖縄には昔から「命薬（ヌチグスイ）」という言葉があり、食は命を育むものだと考えられてきました。南国の太陽と大地、海が育んだ野菜や果実、肉、魚介など、栄養価の高い食材がたくさんあり、中でも沖縄料理によく使われる食材に**豚肉**があります。「沖縄は豚肉文化」「ひずめと鳴き声以外はすべて食べる」と言われるほど料理の種類も多く、肉はもちろん皮、軟骨、さらに血を使った血イリチー（炒め煮）は主にお祝いの席で食べられます。野菜では、全国的に認知度の高い**ゴーヤー**や、**ターンム（田芋）**、フルーツではなく未熟果を野菜として食べる**パパイヤ**などがあり、沖縄県外では食用にしない**ナーベーラー（ヘチマ）**の幼果は夏の食材の定番です。ずっしりと重みのある**島豆腐**も一般的な木綿豆腐とは違い崩れにくく、**チャンプルー（炒め物）**には欠かせません。**魚介類**も南国らしい色鮮やかなものがあり、市場などで見ることができます。タコスの具がご飯にのった**タコライス**は、メキシコ料理を沖縄風にアレンジした、若者に人気のメニューです。


チャンプルー料理
方言で「混ぜ合わせる」という意味。野菜や豆腐などを炒めた沖縄料理です。


タコライス
ご飯の上にタコスの具材をのせたタコライスは、沖縄B級グルメの代表格です。


島野菜
島野菜は昔から家庭料理に用いられ、伝統的に食されてきた野菜です。


ラフテー
豚の三枚肉をしょう油や泡盛で甘辛く煮付けた、沖縄風の角煮のことです。

沖縄独自の地酒「泡盛」

約600年の歴史があり、沖縄独特の製法で造られる**泡盛**。この伝統的なお酒は、世界の蒸留酒と比べても独自性が高く、人気があります。そんな泡盛についての知識があり、おいしさや楽しみ方を伝えるスペシャリストに**「泡盛マイスター」**がいます。泡盛マイスターは、お酒の味や特徴を教えてくれるのはもちろん、泡盛が誕生した琉球王国時代の歴史、お料理と泡盛との相性、醸造方法、泡盛が身体に及ぼす効果や影響など、泡盛に関するあらゆることを勉強し、特徴を的確に伝える、泡盛の伝道者なのです。





COLUMN

沖縄の食材が集まる「那覇の台所」

那覇市第一牧志公設市場は、昭和25（1950）年に開業した沖縄最大級のマチグヮー（市場）です。建て替え工事を行い、周辺の商店街なども含めたマチグヮーの商業や文化交流のための中核となる施設として2023年にリニューアルオープンしました。1階には、沖縄近海で獲れた魚介類や、県産牛、豚肉、野菜、フルーツのほかに、かまぼこ、島豆腐などの加工品、調味料などが所狭しと並んでいて、他県では見られない珍しい食材を見つけることができます。2階には沖縄料理が楽しめる食堂街があり、1階の店舗で買った食材を調理してもらえます。

また、3階の多目的室及び調理体験室は、それぞれの部屋を間仕切りで分けて使うことも、一体的に使うことも可能となっており、会議やイベントなど目的に合わせて柔軟に対応ができるようになっています。（要予約）

市場周辺のアーケード街にはお土産店や飲食店が軒を連ねていて、沖縄の食文化を感じることができます。



那覇市第一牧志公設市場
TEL：098-867-6560
https://makishi-public-market.jp/

おもしろ写真を 撮ってみよう！



テビチ（豚足）、ミミガー（耳の皮）、チラガー（顔肉）、ソーキ（あばら肉）など、豚肉の部位ごとに名前があるよ！

撮影をするときはお店の人にひと声かけてね

知ろう 琉球王国時代から受け継がれる伝統芸能

「歌と踊りの島」と呼ばれる沖縄では、華やかな琉球舞踊や、やさしい音色が特徴の三線、庶民の生活に根づいた民俗踊りなど、さまざまな種類の芸能が見られます。

琉球古典音楽

琉球王国時代に、宮廷音楽として王府を中心に演じられた音楽を**琉球古典音楽**と総称します。三線とその弾き手による歌が中心となり、**箏、笛、太鼓、胡弓**などが伴奏として加わります。音曲も歌も荘重な響きを感じさせます。曲目は230曲ほどあるといわれており、主なものに**「かぎやで風節」「こてい節」「伊野波節」**などがあります。湛水親方こと幸地賢忠が祖とされており、主な三線の流派としては、それぞれ県指定の**無形文化財**に認定された**湛水流、安冨祖流、野村流**などがあります。



三線



古典音楽の斉唱



古典舞踊「四つ竹」



雑踊「黒島口説」

琉球舞踊

2009年9月に国の**重要無形文化財**に指定された**琉球舞踊**は、**古典舞踊**と**雑踊**に分かれます。**古典舞踊**は、琉球王国時代に完成され**「老人踊」「若衆踊」「女踊」「二才踊」**のそれぞれに合う古典音楽が伴奏されます。若衆は元服前の男子、二才は成人男子を指します。**雑踊**は、明治から大正にかけて振り付けされた踊りで、古典舞踊に比べ軽快な身のこなしで**庶民の感情や生活**が素直に表現されます。その他、昭和初期以降に作られた**創作舞踊**、各地域の村落で伝えられてきた**民俗舞踊**もあります。

地域色豊かなエイサー

エイサーは**本土の盆踊り**にあたる沖縄の民俗芸能の一つで、主に**各地域の青年会**がそれぞれの型を持ち、旧盆（旧暦のお盆）の夜に地域内を踊りながら練り歩きます（**道ジュネー**）。伝統衣装を身にまとい、大太鼓や締め太鼓、**「パーランクー」**という片張りの太鼓の音に合わせて、隊列を組んで歌い踊る姿は圧巻です。

屋慶名青年会

うるま市にあるエイサー団体で、華やかな衣装と、独特の腰の落とし、パーランクーと呼ばれる片面太鼓の手の返しに特徴があります。その演技は、迫力満点です。



諸見里青年会



沖縄市にあるエイサー団体で、歌・三線に合わせて勇壮に響く大太鼓と締め太鼓に特徴があります。迫力のあるバチさばきで、ダイナミックな演技を見せてくれます。

知ろう 伝統を守りながら進化する工芸品

沖縄の伝統工芸は、諸外国の文化の影響を受けながら独自の技法を発達させてきました。焼き物や染め物、ガラス工芸など、多様な分野の工芸品が現代に受け継がれています。

アジア諸国の文化が融合

沖縄の工芸は琉球王国時代、貿易により**中国や日本・東南アジアの国々の影響**を大きく受け、発展しました。それぞれの工芸品の技術は高度なもので、**中国皇帝や江戸幕府の将軍への献上品**、さらには**貿易品**としても輸出され、「琉球」の名は広く知られるようになったのです。現在、沖縄で**国の「伝統的工芸品」に指定**されているのは**16品目**。宮古上布といった**織物**を中心に、**琉球漆器、紅型、壺屋焼**などがあり、その数は全国でも有数です。また、指定品目が一地域に固まらず、宮古、八重山、久米島など地方にも広がっている点も特徴です。



紅型
中国や東南アジアなどの文化を吸収しながら、沖縄独自の染物となりました。



琉球漆器
500年ほど前に中国から伝わり、昔は贈答品として用いられました。



やちむん
焼き物のことで、400年ほど前から職人の手によって作られています。



焼成前のやちむん



紅型の色挿し

新しい感性が加わり魅力的に

沖縄の工芸といえば、おみやげ品や飾り物というイメージが強かったのですが、最近では伝統的な技法に、**独創的なアレンジ**を加えた工芸品や、**普段使い**できる陶器や染物、織物などを作る作家が増えています。例えば、**やちむん（焼き物）**にはマグカップやカフェオレボウルといった形があったり、**紅型**はハイビスカスをかわいらしくデザインして染めたり、また**織物**でポーチやコースターなどの雑貨を作るなど、カジュアルになった伝統工芸は、若い人たちの注目を集めています。

COLUMN

空手が沖縄発祥って知ってる？

2021年に開催された東京オリンピックの正式種目に採用され注目が集まる空手。発祥の起源については諸説ありますが、沖縄独自で発達した「手（ティ）」と呼ばれる武術が中国武術と融合し、現在の空手の基本が生まれたとされています。先人たちの努力によって日本全国、さらに世界へ広がり、現在では1億人以上の愛好者がいるといわれています。

2017年には、沖縄伝統空手を文化遺産として保存・継承・発展させ、世界に発信するための拠点として「沖縄空手会館」がオープンしました。





沖縄空手会館
TEL：098-851-1025
http://karatekaikan.jp/



沖縄の 歴史 について学ぼう

140年ほど前は、
琉球王国という国だった沖縄県。
他国の影響を受けながら育まれた、
独自の歴史をたどってみましょう。



国営沖縄記念公園（首里城公園）
空撮（2019年1月）

P27 歴史年表も参考にしてみよう！

MOVIE 動画でも学べる

首里城は琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄華を誇ったよ。

知ろう 琉球王国 ―独自の文化を築いた王国―

琉球王国がどんな国であったのかを知ると、沖縄の独自の成り立ちがよく分かります。三山時代や琉球王国の成立、薩摩の侵攻を経て、琉球処分により琉球王国が幕を閉じるまで、その歴史の流れを知っておきましょう。

450年以上続いた琉球王国

沖縄県はかつて「琉球王国」という、国王を頂点とする独自の国家を形成していました。琉球王国が誕生する前、沖縄本島は「南山」「中山」「北山」の3つの国に分かれ争っていました。この三山時代の1372年、中山の察度王が初めて中国（明）へ使者を送りました。以降**中国や日本、東南アジア各国と中継貿易を行い**、大いに栄えました。現在、沖縄の伝統工芸品である焼き物や織物、漆器などの**技術もその時に伝わった**ものです。

その後、1429年に南山の支配下にあった権力者の**尚巴志**が初めて三山統一を成し遂げ、**琉球王国・第一尚氏王統**が始まりましたが、大土木工事や王位争い、内乱などで力を弱めました。1470年には伊是名島出身の金丸が王位に就き、**尚円**と名乗り、**第二尚氏王統**が始まりました。しかし1609年、薩摩藩が3,000人の兵を琉球に送り込み、琉球は日本の幕藩制支配下に組み込まれることになりました。

薩摩の侵攻から琉球処分

1591年、豊臣秀吉は朝鮮出兵を決心し、薩摩を通じて琉球にも兵を出すよう命じます。これに対し薩摩は、兵を出す代わりに琉球に金銀や米を要求。これを琉球が断ったため、薩摩は1609年に徳川幕府の名の下に3,000人の兵を送り、琉球を攻めました。長い間戦争の経験がなく平和に過ごしてきた琉球王国はなすすべもなく敗れました。琉球はその後、**薩摩の支配下**に置かれることになりましたが、中国との関係も認められ、国としての体裁を保ちました。

明治政府は、これまで日本と中国と深い交流があった琉球王国について、1872年に**琉球藩**を設置し、中国（清）との（冊封・朝貢）関係を絶たせた後、さらに1879年に琉球藩を廃して**沖縄県**を設置し、段階的に日本の版図に組み込みました。これらの一連の流れを「**琉球処分**」といい、これにより、第一尚氏から続いた琉球王国の**約450年にわたる歴史**は幕を閉じます。

世界遺産 琉球王国のグスク及び関連遺産群

日本とは違う独自の歴史を持つ沖縄。人を引きつける魅力の源泉はここに。

2000年12月、首里城跡など県内９ヵ所の城跡や名勝などが「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。日本国内では11番目となります。いずれも、琉球が王国統一に動き始める14世紀後半から、王国確立後の18世紀末にかけて生み出された、琉球独自の特徴を表す文化遺産です。



2 **玉陵**（たまうどぅん）
●那覇市【文化遺産】
第二尚氏王統の王が眠る墓。沖縄独特のひさしの付いた中室、東室、西室の三つの破風墓（はふばか）が連なっているのが特徴です。



3 **園比屋武御嶽石門**（そのひゃんうたきいしもん）
●那覇市【文化遺産】
王国時代に琉球石灰岩で造られた石門。奥の森が御嶽と呼ばれる聖地で、国王が外出の際無事を祈る大切な場所でした。



4 **識名園**（しきなえん）
●那覇市【文化遺産】
琉球王家最大の別邸。赤瓦の御殿と美しい庭園は中国、日本、沖縄の庭園技術を取り入れたものです。



5 **斎場御嶽**（せーふぁうたき）
●南城市【文化遺産】
琉球開びやくの神、アマミキヨによって造られたとされる七つの御嶽の一つ。現在も厚い信仰を集める沖縄第一の霊場です。



6 **中城城跡**（なかぐすくじょうあと）
●北中城村・中城村【文化遺産】
中城湾に面した高台に立つ城。座喜味城を築いた護佐丸が城主を務めました。広い敷地には六つの郭が点在しています。



7 **勝連城跡**（かつれんじょうあと）
●うるま市【文化遺産】
階段状に造られた四つの郭の最上部は、360度の眺望。城内からは繁栄の様子を示す多くの遺物が見つかっています。



8 **座喜味城跡**（ざきみじょうあと）
●読谷村【文化遺産】
15世紀前半に護佐丸が築城した城跡。沖縄最古のアーチ型石門と曲がりくねった城壁が特徴です。



9 **今帰仁城跡**（なきじんじょうあと）
●今帰仁村【文化遺産】
沖縄が三つの勢力に分かれていた三山時代の北山王の居城。渓谷の上に立つなだらかな曲線が見事な城壁が美しいです。



COLUMN 首里城の「見せる復興」に注目

首里城は正殿などが国宝に指定されていましたが戦争で焼失。1992年に沖縄の本土復帰20周年を記念して正殿などが復元され、その後も調査研究の上様々な建物が復元されました。

しかし2019年10月31日、火災により首里城正殿を含む建物8棟が焼損し、沖縄県内外が驚きと悲しみに包まれました。現在は2026年秋、正殿の完成に向けて工事を進めながら「見せる復興」として、龍柱など火災後の残存物を展示しています。新たに整備された見学デッキから、復元された正殿の屋根や装飾をより間近で確認できます。


首里城正殿


東のアザナからの眺望

首里城公園
TEL：098-886-2020
http://oki-park.jp/shurijo/

おもしろ写真を 撮ってみよう！



京の内は城内最大の祭祀空間。神聖な場所である「御嶽（うたき）」や林を18世紀前半を想定し再現している。

京の内入口に立つカジュマルが神秘的！

知ろう 太平洋戦争 ―住民を巻き込んだ沖縄戦―

日本という国のあり方を大きく変えてしまった太平洋戦争。その中で、多くの県民が犠牲となった沖縄戦とはどんなものだったのか、学びましょう。

太平洋戦争前の景気

1914年の第一次世界大戦で日本は、ヨーロッパ各国への輸出で**特需景気**となりましたが、終戦後の1920年には**不況**となります。その影響は沖縄にもおよび、農村部においては食べ物に困った人が、有毒植物のソテツさえも毒抜きして食べました。この大正末期から昭和初期の「**ソテツ地獄**」と呼ばれる恐慌で、人々は生活が苦しくハワイや南米などへ**移民**として渡りました。

徐々に進んでいた日本への同化政策により、**生活のしきたりや習慣を日本風**にしようと、県は沖縄独特の読み方の苗字を読み替え、沖縄方言ではなく標準語を使うことを奨励しました。学校では、方言を使った生徒に対して罰として「**方言札**」という札を首にかけさせたほどです。天皇は神であるという**皇民化教育**が進められ、命を張って国を守る「忠君愛国」の精神が人々に浸透していきました。やがて戦争へと突入していきます。

太平洋戦争勃発と沖縄戦

1941年、**太平洋戦争**が起こりました。はじめ優勢だった日本軍は半年後には劣勢になり、**太平洋の島々は徐々にアメリカ軍に占領**されてしまいます。沖縄の人々が多く移り住んでいた**サイパンやテニアンも占領**されたため、日本軍はアメリカ軍が沖縄にも上陸するとみて、アメリカ軍を沖縄に留めておく作戦をとります。それは**本土決戦の準備時間を稼ぐ**ためでした。1945年3月26日に**アメリカ軍は慶良間諸島へ上陸**を開始し住民を巻き込んだ**地上戦**が始まります。戦争には今の中学生から高校生にあたる**男子学生が通信兵や特攻切り込み兵**として、**女学校の生徒たちは補助看護要員**として参加させられました。

6月23日に牛島司令官が自決し、アメリカ軍は7月2日に**沖縄戦の終了**を宣言しました。この90日間に渡る沖縄戦では多くの住民も犠牲になり、当時の人口で県民の4人に1人が亡くなったといわれています。

戦後の焼け野原からの復興



那覇全景（1945 年）（沖縄県公文書館所蔵）



那覇の街並み（2015 年）

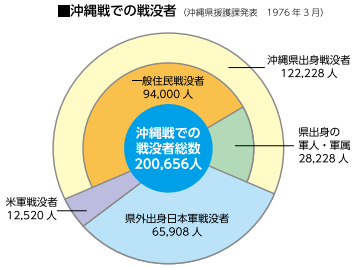
集団死（集団自決）の悲劇

当時、住民は軍によって、鬼や獣のように恐ろしいアメリカ兵やイギリス兵に捕らえられたら、女性は一人残らず乱暴され、男性は最も残忍な方法で殺されると信じ込まされていました。**渡嘉敷島**では、米軍が島に上陸する前に、日本軍から村役場の男子職員や青年たちに**手りゅう弾**が配られました。しかし、そうして渡された手りゅう弾の多くは不発に終わり、死傷者は少数にとどまりました。ところが、そのことが逆に恐ろしい結果を招くことになりました。米軍に殺されるくらいならと、親が子を、兄が妹や弟を殺していったのです。その数は渡嘉敷島では330人といわれています。

本島中部・読谷村の**チビチリガマ**でも、アメリカ軍の上陸で逃げられないと思った住民80人以上が、命を絶っています。



渡嘉敷島に上陸した米軍から逃げた多くの住民が、島北部にある山中で命を絶ちました。





摩文仁の丘

学童疎開船「対馬丸」の沈没

1941年に勃発した太平洋戦争ではアメリカ軍が太平洋の島々を次々に攻撃し、1944年7月にはサイパン島を占領しました。日本政府は「次は沖縄だ」と判断し、**沖縄、奄美大島、徳之島のお年寄りや子ども、女性を島外へ疎開**させる命令を出しました。そのうち、那覇や中北部の国民学校の生徒たちが集団で**対馬丸に乗り、長崎へ疎開**することとなりました。対馬丸は軍艦ではなく貨物船だったため窓がほぼなく、船内は蒸し風呂のような暑さで人々の体臭、船の臭いに満ちていました。

護衛艦や僚船2隻とともに出航した対馬丸ですが、**出航時からアメリカの潜水艦に追跡**され、攻撃の対象となっていたのです。そして出航から27時間30分後、ついに鹿児島県の悪石島近くで攻撃に遭い、**約10分で沈没**してしまいました。真夜中の出来事だったため大多数の人が脱出できず、**多くの犠牲を出しました。**



対馬丸（日本郵船歴史博物館所蔵）



公益質屋跡（伊江島）

離島での沖縄戦

太平洋戦争の末期、激しい地上戦が繰り広げられた沖縄戦は、1945年3月26日に**アメリカ軍の慶良間諸島への上陸**から始まりました。沖縄本島の南から北まで攻撃エリアを広げていったアメリカ軍は、**津堅島、伊江島、久米島などの離島へも上陸し**攻撃の手を緩めませんでした。地上戦のなかった宮古・八重山でも、多くの犠牲者を出しました。宮古島では沖縄戦の始まる前の1944年、**10・10空襲**での初攻撃を境に戦闘機や戦艦による砲撃が続き、八重山地方では**マラリアが蔓延する地域への移住を強要**されたことで多くの住民が亡くなりました。西表島にある忘勿石は、マラリアで多くの生徒が亡くなった事実を忘れてはならないと、その死を悼んで刻まれたものです。



忘勿石（西表島）

見学しよう 「ガマ」で戦時中の暗闇を体験し、沖縄戦の実相を知ろう

南城市



アブチラガマ（糸数壕）

ガマとは、沖縄の方言で洞窟のことです。南城市玉城の糸数集落にあるこのガマは全長約 270m におよび、1945 年に駐屯していた軍の移動後、近隣住民約 200 名が避難しました。その後、陸軍病院として使用されるなど、多くの命を救いますが、病院の撤退後は重症患者が置き去りにされ、米軍の攻撃を受けるなど悲惨を極めました。

TEL：098-852-6608
（南部観光総合案内センター）
http://abuchiragama.com/

豊見城市

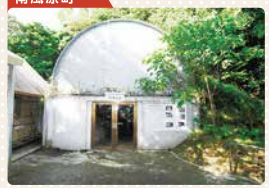


旧海軍司令部壕

沖縄戦において、日本海軍沖縄方面根拠地隊司令部のあった壕です。日本海軍設営隊によって掘られた壕で当時のまま残されており、現在は恒久平和を祈念する戦跡施設として、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ平和学習の場として活用しています。併設の資料館には、壕内で発見された戦争当時の遺品などが展示されています。

TEL：098-850-4055
http://kaigungou.ocvb.or.jp/top.html

南風原町



沖縄陸軍病院南風原壕群20号

約30の横穴壕からなり、米軍の艦砲射撃が始まった1945年から陸軍病院として使用されました。ひめゆり学徒と呼ばれる女生徒222人が教師18人に引率され、看護補助要員として動員されました。米軍上陸後には本島南部への撤退命令が出され、その際には重症患者に青酸カリが配られ、自決の強要が行われたといわれています。

TEL：098-889-7399
（南風原町立南風原文化センター）
https://www.town.haebaru.lg.jp/site/kankou/2351.html

知ろう 米国統治 ―日本への復帰から現在―

戦後 27 年間の米国統治が続いた沖縄。本土復帰を果たしたものの、いまだ米軍基地が島の多くを占める現実があります。そんな中でも、社会、経済などの水準を高め、自立できる沖縄への歩みを進めています。

米国統治下の沖縄

アメリカに支配された沖縄の自治権はかなり制限されたものでした。1946年、沖縄、宮古、八重山、奄美諸島の**四カ所に分けて民政府**が作られました。1950年、各民政府は**群島政府**になり、1952年に四つの群島政府は**琉球政府**と統合されました。琉球政府の長である**行政主席**は、沖縄統治についての責任を負う組織である**米国民政府**が任命しました。米国民政府の責任者で、軍人である**民政副長官**（1957年以降は、民政長官・副長官制が廃止されたため**高等弁務官**となる）が強大な権利をもって統治しました。1970年には、コザ市（現沖縄市）で、米兵による交通事故の米憲兵の不当な事故処理に抗議する人々に対し米憲兵が威嚇発砲したため、怒った住民たちが米軍車両や外国人車両に、次々と火をつけました。これを「**コザ反米騒動**」といいます。

このように沖縄の人々の自治権や人権が踏みにじられたことが、沖縄の人々を**祖国復帰運動**へと導きます。

沖縄の願い～自立できる産業構造を

1972年5月15日、沖縄は**日本復帰**を果たしますが、沖縄の人々が望んでいた内容とは違いました。1969年に発表された**日米共同宣言**では「核抜き、本土並み、1972年返還」が掲げられていました。しかし実際は基地が残っている結果となりました。アメリカに支配されていた沖縄の経済状態は本土に比べ悪く、政府は税金を安くしたり多額のお金を投資し特別な措置をとりました。本土並みを目指し3次にわたる**沖縄振興開発計画**（1972～2001年）を立て、さらに2002年に策定された**沖縄振興特別措置法**に基づく沖縄振興計画により新しい沖縄づくりに取り組んだ結果、道路や港などの整備が飛躍的に進みましたが、今でも県民所得は本土の約7割、失業率は全国に比べ高い水準が続いています。こうした中、沖縄県では、将来（おおむね2030年）のあるべき姿を描いた基本構想「**沖縄21世紀ビジョン**」を策定し、その将来像を実現するため2011年「**沖縄21世紀ビジョン基本計画**」を公表し、2023年には「**新・沖縄21世紀ビジョン基本計画**」が公表されました。





資料提供：沖縄県知事公室基地対策課



米軍専用施設のうち約70％が沖縄に集中してるんだって…。

沖縄防衛局
（2024年6月現在）

在日米軍提供施設・区域配置図



終わらない戦後（不発弾・基地被害）

沖縄には戦時中に投下された爆弾が爆発せずに残っている**「不発弾」**が多く存在しており、すべて安全に処理するにはあと約70年はかかるといわれています。2010年には初めて住宅地での爆破処理が行われるなど、戦後70年以上経った今でも県民の生活をおびやかしています。1951年に**日米安全保障条約**が成立し、アメリカは日本全土に基地を置く権利を得ました。その後、より平等な関係を望む日本の意向をくみ、条約は改定されます。しかしその結果、本土の米軍基地は4分の1に減り、その分が沖縄に移りました。1972年の沖縄返還時、本土ではさらに3分の1に減らされましたが、沖縄の米軍基地は減らされず、現在、**日本にある米軍専用施設の約70％が沖縄に集中**し、沖縄本島では総面積の約15％を占めています。その存在により、日常的に基地周辺の住民を苦しめるのが騒音被害です。2004年には沖縄国際大学の校舎に米軍のヘリコプターが墜落し炎上するなどの事故も起きました。米軍基地による環境汚染や騒音、米兵による事件、事故などの被害は今でも後を絶ちません。

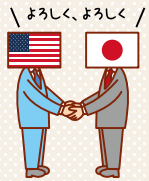


道の駅から見える米軍基地
嘉手納町にある「道の駅かでな」のフロアからは、アメリカ空軍の基地である嘉手納飛行場が見えます。

知ろう 安全保障を巡る日本とアメリカ、そして、沖縄との関係

日米安全保障条約って？

1951年、日本はサンフランシスコ講和条約を結び翌年に主権を回復、同時に日米安全保障条約を締結し米軍の駐留と基地の自由使用を認めました。やがて明記のなかった米国の日本防衛義務も日米共同防衛により明確化されたものの、ソ連との冷戦終結後は沖縄に米軍基地が集中し続けることへの反発が高まりました。しかし両政府は地域紛争問題などを挙げさらなる関係強化を図っています。



思いやり予算って？

日米安全保障条約に基づき、日本には約5万5千人の米軍が駐留しています。その駐留費用を、安全保障の代わりとして日本が負担しており、毎年2千億円前後の金額が防衛省予算に計上されています。しかし、本来、在日米軍の維持経費は日本に負担をかけずにすべて米国が負担すると規定している日米地位協定に反しており、そのため「思いやり予算」と呼ばれます。内容は、米軍基地の施設整備費のほか、日本人従業員の労務費、米軍の光熱水道費、訓練移転費などが含まれます。これまでに、米国は度々大幅な増額を要求するなど、ますます問題は深刻化してきています。

COLUMN

沖縄にある“リトルアメリカ”を歩こう！

米軍統治下にあった時代、沖縄ではドルが使われ、自動車は右側通行、町には英語があふれ、「アメリカ世（ゆ）」とも呼ばれていました。そして現在も、米軍基地に隣接する沖縄市のコザゲート通りや金武町の新開地には、アメリカンな町並みが残っています。

北谷町の「美浜アメリカンビレッジ」は、1981年に米軍から返還されたメイモスカラー射撃場の基地跡を開発して造られました。アメリカをイメージした町並みに、映画館、レストラン、雑貨店などが軒を連ねる、異国情緒あふれるリゾートタウンです。





美浜アメリカンビレッジ
TEL：098-926-5678
https://www.okinawa-americanvillage.com/



沖縄の 平和 について学ぼう

**沖縄戦で多くの尊い命を失った沖縄。
本島南部には、戦争当時使われた陣地壕や、
住民が避難したガマ、
慰霊の塔などの戦跡が多く残り、
県内外の児童生徒たちの
平和学習などに活用されています。**



沖縄平和祈念堂
(沖縄県平和祈念公園内)

本島南部には戦跡が多く残っていて平和学習に活用されているよ。

MOVIE 動画でも学べる

沖縄平和学習の意義と重要性

沖縄本島南部は沖縄戦末期に、日本軍の司令部が移動してきたことから**住民を巻き込んだ戦場**となりました。

糸満市の**摩文仁**の岸壁は、追いつめられた人々が自決をしたことから、米軍に**スーサイドクリフ**(自殺の断崖)と呼ばれていました。ここには犠牲となった人たちの**慰霊の塔**が建っています。戦後**摩文仁の丘**は**「沖縄県平和祈念公園」**として一帯の戦跡とともに**沖縄戦跡国定公園**となりました。人間の尊厳を第一に戦争につながる一切を否定し、平和を求め文化を愛する心が息づいた場所になっています。



沖縄県平和祈念公園

沖縄にとって特別な日

6月23日は、1945年の沖縄戦のさなかに牛島司令官の自決により司令部が壊滅し、日本軍の組織的戦闘が終わったとされる日です。この日を沖縄では**「慰霊の日」**と定め、多くの尊い命を失った歴史事実に鑑み、こうした惨禍が再び起こることのないよう、全戦没者の冥福と世界の**恒久平和を祈念する日**としています。毎年、慰霊の日には、平和祈念公園で世界の恒久平和を願う**沖縄全戦没者追悼式**が開かれ、身内を亡くした沖縄戦犠牲者の遺族やその子孫が慰霊に訪れます。式典中の正午には、戦没者の冥福と恒久平和を願い、**黙祷**が捧げられます。平和の礎の中心を通るメイン園路は、慰霊の日の**日の出の方角**に向けて延びており、園路の両サイドに刻銘碑が立ち並んでいます。



日・米・英・韓・台の5ヶ国・地域の戦没者を表すサーチライト

見学しよう 沖縄県平和祈念公園ってどんなところ？

沖縄戦終焉の地となった糸満市摩文仁にある公園。約40ヘクタールの広大な敷地内には、国立沖縄戦没者墓苑や各都道府県の慰霊塔・碑があり、戦没者への慰霊を捧げるとともに、平和の尊さを体感する場所となっています。



沖縄戦に関する資料を展示

CHECK 1 沖縄県平和祈念資料館

住民による数々の証言を中心に、映像、写真、実物資料などを展示しています。沖縄戦だけでなく、当時の社会背景や歴史もあわせて体系的に学べ、小さな子どもが楽しみながら学べる施設もあります。

TEL 098-997-3844



すべての戦没者の名前を刻む

CHECK 2 平和の礎

沖縄戦終結50周年を記念して建設されました。軍人や民間人、そして、国籍の区別なく、沖縄戦などで亡くなられたおよそ24万人すべての人々の氏名が刻まれています。戦没者の冥福を祈り、世界の平和を願うために建てられました。

TEL 098-997-2765

(令和8年度 6月現在)

平和の礎 刻銘者数	
沖縄県出身者	149,703名
県外出身者	78,365名
外国人	14,591名
合計	242,659名



沖縄県平和祈念公園
住所 沖縄県糸満市字摩文仁444番地
TEL 098-997-2765
(公益財団法人沖縄県平和祈念財団)

平和の礎には アメリカの他、 外国人の名前もあり、 それぞれの母国語で 表記されているよ





霊域ゾーン

本園東南部一帯の丘陵地で面積約12ヘクタール。沖縄戦で最後の激戦地となった場所であり、国立戦没者墓苑や各県の慰霊塔が建立されています。



黎明之塔

摩文仁岳の西端に建つ、旧日本軍第32軍司令官牛島満中将と参謀長長勇中将の慰霊塔です。



世界平和を訴える白亜の堂

CHECK 3 沖縄平和祈念堂

平和への祈りと戦没者追悼の象徴として建てられた白亜の堂。山田真山画伯が18年余の歳月をかけて原型を制作した沖縄平和祈念像が安置されているほか、日本洋画壇の巨匠たちから贈られた作品を展示する美術館も併設しています。

TEL 098-997-3011 (管理事務所)

犠牲になった生徒たちの慰霊碑

CHECK 4 全学徒隊の碑

沖縄戦では、全21の師範学校・中等学校の生徒たちが戦場に動員され、激しい戦火の中で多くの生徒が犠牲になりました。このことを広く後世に伝え、世界の恒久平和を願うため「全学徒隊の碑」が建立されました。

TEL 098-866-2428
(沖縄県保護・援護課)





動画で 学徒体験者の 証言を見ることが できるよ

地域・平和ガイド等 一覧

●沖縄県観光ボランティアガイド友の会
TEL.098-856-6441　FAX.098-856-6565
壕（ガマ）や「平和の礎」などの戦跡、嘉数高台やカデナ基地など米軍基地周辺の案内、沖縄戦体験者による講話の他、首里城など世界遺産、史跡を案内する歴史ガイドも行います。

●沖縄平和ネットワーク
TEL.090-6860-8682(平和ネット携帯) FAX.098-993-7517
事前学習の相談、案内の他、事後学習を続けるために学校と一緒に平和学習を創りあげるお手伝いをします。

●沖縄県平和祈念資料館友の会
TEL.098-997-3844　FAX.098-997-3947
沖縄県平和祈念資料館と連携しながら平和学習や講話、戦跡のガイドを行います。

●ひめゆり平和祈念資料館
TEL.098-997-2100　FAX.098-997-2102
平和講話（約40分）：学芸課職員による平和講話、ひめゆり学徒隊の体験を中心に沖縄戦についてお話できます。オンラインでの実施も可能。※要予約

●南風原平和ガイドの会（南風原町立南風原文化センター）
TEL.098-889-7399
FAX.098-889-0529（南風原町立南風原文化センター）
沖縄陸軍病院南風原壕群20号を案内し、平和学習を中心に行っています。

●対馬丸記念館
TEL.098-941-3515　FAX.098-863-3683
事前に予約連絡をすれば、記念館内の展示物等の説明が受けられます。

●今帰仁グスクを学ぶ会
TEL.0980-56-4406、080-6490-8250
今帰仁村グスク交流センターを起点に、世界遺産・今帰仁城跡やその周辺遺跡、集落などを1～2時間くらいで案内します。

●うるま市史跡ガイドの会
TEL.070-3800-9976
勝連城跡の案内及びうるま市内文化財を有料で案内します。予約制ですので、2週間前までに申し込んでください。

●地域ガイド（風の会）
TEL.098-982-8739　FAX.098-982-8713
「沖縄の過去・現在・未来を見つめて」というテーマの平和講話とフィールドワークの他、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムのガイドなど、歴史文化の多種多様なコースがあります。※要予約

●中城村・北中城村文化財案内人サークル「グスクの会」
TEL.098-935-5719　FAX.098-935-1146（中城城跡共同管理協議会）
第二次大戦の戦禍をまぬがれ、県内でもっとも原型をとどめている世界遺産・中城城跡を中心に案内します。※要予約

●NPO法人 うらおそい歴史ガイド友の会
TEL.098-874-9345　FAX.098-874-9345
浦添城跡の探索や、浦添から首里までの道を歩きながら、史跡や文化財を案内します。沖縄戦の激戦地・前田高地を学ぶコースもあります。

●NPO法人 自然体験学校
TEL.098-998-0330　FAX.098-998-3808
学徒動員された「白梅学徒隊」の足跡をたどるコースや、自然洞穴（ガマや壕）を見学するなど、当時の状況を肌で感じ、平和について考えます。平和学習は基本的に団体のみの受け入れとなります。※要予約

●那覇まちま～い
TEL.098-860-5780　FAX.098-860-5777
首里城や牧志公設市場など那覇の歴史文化を楽しく学べるコースや、朗読劇鑑賞プラス戦跡をたどる平和学習など、多彩なコースがあります。

●NPO法人 那覇市街角ガイド
TEL.098-860-5960　FAX.098-860-5961
世界文化遺産の首里城をはじめ、魅力いっぱいの那覇市を詳しく、楽しく案内します。

●糸満市観光協会観光ガイドの会
TEL.098-840-3100　FAX.098-987-1278（糸満市観光協会）
地元の観光ガイドが糸満の様子や背景、昔の伝説などを交えた話とともに糸満市内を案内します。

●アブチラガマ（糸数壕）
TEL.098-852-6608　FAX.098-852-6466（南部観光総合案内センター）
南風原陸軍病院分室として利用されたガマで過ごした、ひめゆり学徒、負傷兵、住民についての説明を行います。ガマの中には井戸やカマド、遺物が残っています。

※時間・料金については、事前にお問い合わせください。

事前学習教材ガイド

沖縄関連書籍一覧

《平和・戦争》
- 平和のためのガイドブック沖縄／あけぼの出版社
- 新　歩く・見る・考える沖縄（沖縄平和ネットワーク編）／沖縄時事出版
- 沖縄の戦争遺跡（沖縄県平和祈念資料館編）／沖縄時事出版
- 沖縄の戦跡ブック　ガマ（沖縄県高教祖教育資料センター『ガマ』編集委員会編）／沖縄時事出版

《歴　史》
- 高等学校 琉球・沖縄史／新城俊昭
- 戦後をたどる「アメリカ世」から「ヤマトの世」へ　－『那覇市史　通史編第3巻（現代史）』改題－（那覇市歴史博物館編）／琉球新報社
- やさしくまとめた沖縄の歴史／沖縄文化社

《文　化》
- 新編沖縄の文学（高教組教育資料センター）監修：波照間永吉（沖縄県立芸大教授）／沖縄時事出版
- 沖縄の祭りと行事／比嘉政夫
- 沖縄の伝統工芸／沖縄文化社

《自然・環境》
- 沖縄エコツアーガイドブック／沖縄探検社

《沖縄全般》
- 沖縄修学旅行／新崎盛暉・仲地哲夫・村上有慶・目崎茂和・梅田正己
- 最新版 沖縄コンパクト事典／琉球新報社

沖縄関連映像資料一覧

- もうひとつの沖縄戦記（約30分）／販売 旧海軍司令部壕事務局 TEL.098-850-4055
- アニメ「ひめゆり」（約30分）／販売 事前学習用映像「『命』って何？」（14分）／貸出期間：2週間無料 ひめゆり平和祈念資料館 TEL.098-997-2100
- 戦争体験証言ビデオ（5～13分各種類）／貸出期間：2週間無料 沖縄県平和祈念資料館 TEL.098-997-3844
- 沖縄戦　未来への証言（58分）DVD 沖縄戦の証言（35分）DVD ドキュメント沖縄戦（57分）DVD 軍隊がいた島～慶良間の証言～（完全版55分/普及版32分）DVD／販売 沖縄県学校用品株式会社 TEL.098-867-3683
- 清ら島 沖縄～摩文仁からのメッセージ～（30分）／貸出無料 公益財団法人 沖縄協会（沖縄平和祈念堂） TEL.03-6231-1433
- GAMA-月桃の花（110分）／有料放映 (有)ジー・ジー・エス　TEL.098-946-6663
- 環境学習用資材（DVD・VHS）／貸出無料 沖縄県地域環境センター TEL.098-933-4190 https://kankyo-center.okinawa/list
- ふじ学徒隊（48分）／貸出有料 株式会社　映像製作 海燕社 TEL.098-850-8485 http://www.kaiensha.jp/
- 17歳の別れ -語り部 元女子学徒隊 宮城巳知子（111分）／有料上映 株式会社サイズ　http://size.com

参考資料　琉球と沖縄県の主な出来事が分かる

歴史年表

時代	沖縄の主な出来事	日本の主な出来事
グスク時代	714 ●奄美・信覚・球美等の南島人来朝 753 ●唐僧鑑真、阿児奈波島に漂着	743 ●墾田永年私財法 894 ●遣唐使廃止
三山時代 舜天王統	1187 ●舜天即位 1250 ●大飢饉・疫病で人民多数死亡	1185 ●源頼朝、鎌倉幕府開く 1203 ●北条氏による執権政治
三山時代 英祖王統	1260 ●英祖即位 1322 ●北山・中山・南山の三つに分かれる	1274 ●文永の役（元寇） 1281 ●弘安の役（元寇） 1333 ●鎌倉幕府滅亡 1338 ●足利尊氏、室町幕府を開く
三山時代 察度王統	1350 ●察度即位 1372 ●中山の察度王、明に進貢する	1404 ●勘合貿易はじまる
三山時代 第一尚氏王統	1406 ●尚巴志、中山王武寧を滅ぼし父思紹を王とする 1429 ●尚巴志、南山を滅ぼして三山を統一する 1458 ●護佐丸・阿麻和利の乱おこる ●万国津梁の鐘を首里城正殿にかける	1411 ●義持、明との国交断絶 1428 ●正長の土一揆 1432 ●義教、勘合貿易再開 1467 ●応仁の乱おこる
第二尚氏王統	1470 ●金丸、王位につき尚円と称し、第二尚氏王統開く 1480 ●中国伝来の技法で首里花織が織られる 1501 ●玉陵を築く 1519 ●園比屋武御嶽石門創建 1531 ●「おもろさうし」第一巻編集 1571 ●奄美大島を支配下に置く 1609 ●島津の支配下におかれ、幕藩体制に組み込まれる 1623 ●儀間真常、はじめて黒糖を製造する 1636 ●キリスト教宗門改はじまる 1637 ●宮古・八重山に人頭税課せられる 1731 ●薩摩から製陶の技術伝わる 1749 ●このころの人口20万人と伝わる 1853 ●ペリー来航。日本への開国の足がかりとする 1872 ●琉球王国から琉球藩となり鹿児島県のもとに置かれる 1873 ●ドイツ商船宮古沖で遭難、乗組員を救助 1879 ●日本政府、「琉球処分」を断行。沖縄県を設置（廃藩置県）	1543 ●種子島に鉄砲伝来 1549 ●ザビエル、キリスト教を伝える 1573 ●室町幕府滅亡 1582 ●本能寺の変で信長殺害される 1585 ●秀吉、関白となる 1600 ●関ガ原の戦い 1603 ●家康征夷大将軍となる 1629 ●長崎で踏絵始まる 1649 ●慶安のお触書 1716 ●享保の改革 1732 ●享保の大飢饉 1782 ●天明の大飢饉 1787 ●松平定信、老中となり寛政の改革始める 1841 ●天保の改革 1854 ●日米和親条約結ぶ 1858 ●日米修好通商条約結ぶ 1860 ●桜田門外の変 1867 ●大政奉還で王政復古 1871 ●廃藩置県 1877 ●西南戦争起こる
明治	1882 ●第一回県費留学生派遣 1888 ●人口37万4698人 1892 ●宮古で人頭税廃止運動おこる 1894 ●日清戦争勃発で県内混乱 1897 ●間切・島番所を役場に改称 1899 ●海外移民始まる 1900 ●人口46万5470人 1903 ●人頭税廃止 1909 ●初の県議会議員選挙実施 1910 ●那覇区に電話開通	1882 ●日本銀行開業 1885 ●内閣制度制定 1889 ●大日本帝国憲法発布 1890 ●府県制・郡制制定、第1回帝国議会開会 1895 ●下関条約締結、三国干渉 1902 ●日英同盟（第1次）成立 1904 ●日露戦争 1905 ●ポーツマス条約調印 1909 ●伊藤博文、ハルピンで暗殺 1911 ●日米新通商航海条約（関税自主権回復）
大正	1914 ●那覇ー与那原間に軽便鉄道開通 1920 ●市町村制・府県制の特例撤廃で本土並の地方制度となる 1921 ●沖縄初のメーデー行われる 1923 ●県外出稼ぎ多くなる 1924 ●ソテツ地獄始まる 1925 ●人口55万7993人	1914 ●第1次世界大戦 1918 ●富山県で米騒動が起きる 1919 ●ベルサイユ条約調印 1921 ●ワシントン会議に参加 1923 ●関東大震災おこる 1925 ●普通選挙法・治安維持法が成立

時代	沖縄の主な出来事	日本の主な出来事
昭和	1926 ●宮古・八重山島庁をそれぞれ支庁と改称 1935 ●人口59万2239人 1940 ●「沖縄日報」「沖縄朝日新聞」「琉球新報」が統合され、「沖縄新報」となる（一県一紙） 1945 ●米軍の沖縄上陸。沖縄戦始まる ●日本軍降伏文書に調印 1948 ●通貨をB軍票(B円)に切り替え 1952 ●琉球政府発足 1959 ●石川市宮森小学校に米軍機墜落（死者17名、負傷者210名） 1961 ●コザで米兵がひき逃げ、少女4人死傷 1962 ●嘉手納村に米軍輸送機墜落 1970 ●戦後初の国会議員選挙実施 1972 ●沖縄が日本に復帰する 1974 ●県条例で慰霊の日(6·23)制定 1975 ●沖縄国際海洋博覧会（海洋博）開催 1978 ●交通方法変更が実施される（730） 1982 ●嘉手納基地周辺の住民爆音訴訟起こす	1928 ●最初の普通選挙が行われる 1931 ●満州事変 1933 ●国際連盟脱退 1937 ●日中戦争 1940 ●日独伊三国軍事同盟 1941 ●太平洋戦争開戦 1945 ●広島・長崎に原爆投下 ●ポツダム宣言受諾。日本の敗戦 1946 ●日本国憲法公布(47施行) 1951 ●サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約調印 1960 ●日米新安全保障条約調印 ●安保反対闘争激化 1964 ●東京オリンピック 1970 ●日本万国博覧会（大阪万博） 1973 ●石油危機 1978 ●日中平和友好条約締結 1980 ●人口1億1705万7485人 1989 ●消費税実施
平成	1990 ●世界のウチナーンチュ大会開催（第一回） 1992 ●復帰20周年記念事業ー首里城復元 1995 ●米軍人による少女乱暴事件に対し県民総決起大会が開かれ8万5千人が集結 2000 ●第26回主要国首脳会議（九州・沖縄サミット）開催 ●「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録される 2003 ●那覇空港ー首里間に沖縄都市モノレール（ゆいレール）が開通 2004 ●沖縄国際大学に普天間飛行場所属のCH53大型ヘリが墜落炎上 2006 ●在日米軍再編決定 ●尚家文化財1251点、国宝に。戦後初の指定 2007 ●文科省の高校歴史教科書検定で沖縄戦における「集団自決」で日本軍強制の記述が削除・修正された問題で意見の撤回を求める県民大会が宜野湾海浜公園で開催され、11万6千人が参加（主催者発表） 2010 ●沖縄県米軍普天間飛行場の県内移設に反対し、読谷村で県民大会。主催者発表で9万人参加 2012 ●沖縄は、本土復帰から40年を迎えた 2013 ●新石垣空港開港 2014 ●慶良間諸島、国立公園に指定 2015 ●伊良部大橋、開通 2016 ●名護市の海岸に米軍普天間飛行場所属のオスプレイが墜落 2017 ●名護市辺野古の新基地建設で護岸工事が始まる ●観光客数900万人台を突破	1993 ●東京サミット 1994 ●関西国際空港開港 1996 ●広島の原爆ドームと厳島神社が世界遺産に登録される 1998 ●冬季オリンピック長野大会 2006 ●WBC、初代ワールド・ベースボール・クラシック優勝 2007 ●愛知万博開催 2008 ●洞爺湖サミット開催 2009 ●21世紀でもっとも継続時間の長い皆既日食を観測 2010 ●NASAが山崎直子さんを乗せたスペースシャトル「ディスカバリー」を打ち上げ 2011 ●東日本大震災、死者・不明者約2万人 ●サッカーの第6回女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が初優勝 2012 ●東京スカイツリーが開業 ●ノーベル生理学・医学賞を京都大学教授山中伸弥が受賞 2015 ●戦後70年 2016 ●熊本地震 2017 ●天皇陛下の19年4月末退位を実現する特例法が成立
令和	2019 ●観光客数1000万人を突破 2020 ●那覇空港第二滑走路開通 2021 ●沖縄県北部・西表島が世界自然遺産に登録 2022 ●沖縄本土復帰50周年 2025 ●戦後80年の節目 2026 ●首里城正殿が復元され、一般公開開始	2020 ●新型コロナウイルスが全世界で大流行 ●東京オリンピック1年延期 2021 ●東京オリンピック 2023 ●G7広島サミット開催 2024 ●能登半島地震 2025 ●大阪・関西万博開催 2026 ●愛知・名古屋でアジア競技大会開催

沖縄の産業について学ぼう

MOVIE 動画でも学べる



暖かな気候を利用した農業や美しい海の恵まれた漁業、自然や伝統文化を活かした観光業など沖縄独自の産業について学びましょう。

知ろう 特有の気候や自然が育む産業

沖縄県では温暖な気候を利用した農業、美しい海の恵まれた漁業が盛んに行われています。産業全体に占める割合はそれほど高くありませんが、他県にはない珍しい農林水産物が流通しています。

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた多様な農林水産物

亜熱帯気候に属している沖縄県では、基幹作物であるサトウキビを中心に、ゴーヤーや島らっきょうなどの野菜、パイナップルやマンゴー、パパイヤなどのフルーツなど、**南国特有の農作物**が栽培され、それらを利用した**加工食品**も多く製造されています。また、キクやランなどの**花卉栽培**も行っています。これらの農作物は、本土より早い時期に出荷できるというメリットがある一方で、台風の被害を受けやすく、海外からの輸入品との競合もあります。近年は離島地域を中心に、温暖な気象条件を活かした**肉用牛の飼育**にも力を入れています。





沖縄県でも**漁業**が盛んに行われています。県内の漁獲生産量のおよそ半分を占めているのが**マグロ類**です。通常のマグロ漁は、獲った魚を船ですぐに冷凍しますが、沖縄では近海で獲れるので生のまま水揚げされた新鮮でおいしいマグロを味わうことができます。また、もずくや**車エビ、海ぶどう**などの養殖も行われています。特に沖縄の**もずく**は、全国生産の9割を占めていて、食物繊維やミネラルを含んだ健康食品としても注目を集めています。そんな沖縄の市場では、本土では見られない色鮮やかな魚がたくさん並んで売られています。**イラブチャー（ブダイ類）、グルクン（タカサゴ）**など、食べてもおいしい魚です。



知ろう 沖縄県の暮らしを支える観光業

国内有数の観光リゾートとして人気の沖縄県。観光客を誘致する仕事、ホテルや観光施設で接客をする仕事がたくさんあり、観光業は沖縄県全体の経済を支える大きな柱のひとつとなっています。

沖縄の魅力をアピールして人を呼び込み、観光客をもてなす仕事

美しい海に抱かれた沖縄は、**国内屈指のリゾート地**として発展してきました。海岸線沿いには**大型リゾートホテル**が立ち並び、海水浴やマリンスポーツを楽しむ観光客でにぎわっています。また、世界遺産の首里城跡や万座毛などの景勝地、伝統文化を体感できるテーマパークなどの見どころも充実しています。さらに沖縄本島以外にも石垣島や宮古島などの**個性あふれる島々**があり、訪れる人々を魅了してやみません。令和7年度は過去最高の**1,093万5,300人の観光客**が沖縄県を訪れました。



観光客は、ホテルや飲食店、おみやげ店などでお金を使います。令和7年度の統計では、観光客が沖縄で使ったお金は1人当たり平均98,281円、**観光収入**は総額で約1兆747億円となりました。外国人客は、これまで航空路線が増えたことや円安効果などにより台湾、韓国、中国、香港からの訪沖が増加し、平成30年度には300万人と過去最高となりました。令和3年度に新型コロナウイルス感染症拡大等の影響でゼロとなりましたが、令和5年度以降、航空路線やクルーズ船の運航再開が進み、外国人客は回復傾向となりました。令和7年度には294万人まで回復しました。





主な仕事 宿泊客を案内するホテルスタッフや海遊びをサポートするマリンスタッフなど、観光業に関する仕事はいろいろありますが、どの仕事にも通ずるのは“おもてなし”という思いです。



ホテルスタッフ
おもてなしの心を持ち、年齢や性別、国籍も異なるお客様が何を求めているのかを察し、サービスを行います。



マリンスタッフ
海での活動を通して人を楽しませ、癒しを与える仕事。安全に自然を満喫できるサービスを提供します。



スパセラピスト
海辺や森といった豊かな自然を利用し、セラピストによる施術で心と体をリラックスさせてくれます。



通訳案内士
外国人を沖縄各地へ案内し、文化や伝統、生活習慣などを外国語で紹介。通訳とガイドの両方を行います。



アミューズメントスタッフ
観光客を楽しませたり、観光客からの伝統芸能や文化に対する質問に答えるなど、幅広い仕事を行います。



ウエディングプランナー
お客様の希望に合わせたブライダルプランを提案したり、結婚式の準備や演出、撮影などを手伝います。

知ろう 物流・IT・科学技術の拠点を目指して

好調な観光産業に支えられ、成長を続けている沖縄県の経済。情報通信産業の伸びが期待される他、物流拠点の形成を目指した日本とアジアを結ぶ空路・航路の拠点として、さらなる発展を目指しています。

物流の拠点となり、日本とアジアを結ぶ

沖縄県は東アジアの中心に位置するという**地理的優位性**を活かし、**国際的な物流ハブ**となることを目指しています。「ハブ」とは、貨物などを集中させる拠点のこと。ハブとなる空港や湾港を結ぶ路線を充実させることで、輸送効率をアップさせることができるようになります。

沖縄の空の玄関口・**那覇空港**は24時間運用が可能です。貨物専用機を深夜に就航することで、深夜発・翌朝到着というスピーディーなダイヤを実現。夜中に発送した荷物を、翌日の朝にはアジアの主要都市に届けることができるのです。

海の玄関口である**那覇港**でも、国際コンテナターミナルの整備、国際海上コンテナ航路の拡充、総合物流センターの整備を行い、物流拠点の形成を目指しています。さらに、旅客ターミナルを備えた**那覇クルーズターミナル**もオープンし、国際クルーズ船で訪れる外国人観光客の利便性が大幅に向上しています。


国際物流の拠点形成にむけて整備が進む那覇港


船舶を利用した物流システム（北部拠点港本部港）


アジアのバイヤーと日本全国の食品事業者が集まる国際商談会


大手 IT 企業が入居する「沖縄 IT 津梁パーク」

環境を整えて多くのIT企業を呼び込む

沖縄県では2007年より、国内外の情報通信関連産業の一大拠点を目指すビッグプロジェクト**「沖縄IT津梁パーク」**を進めています。「津梁（しんりょう）」とは、アジアとの架け橋を意味する言葉。現在、うるま市にはプロジェクトと同じ名前の施設が完成し、コールセンターやソフトウェア開発会社など、県内外の企業を誘致しています。

また沖縄県と民間企業が連携した事業として、公設民営のクラウドデータセンターの新設および供用開始、県内データセンター間を相互に接続するネットワーク基盤の拡充、高速・大容量・低価格の沖縄国際情報通信ネットワークの供用開始を含めた、**クラウド環境の整備**を行っています。

科学技術を通して“知の交流拠点”を目指す

地元に根付き、世界に開かれた**“知の交流拠点”**を目指す沖縄県では、「健康・医療」と「環境・エネルギー」の分野を柱に、**沖縄科学技術大学院大学**（通称・OIST）、**琉球大学、沖縄工業高等専門学校**などが中心となり、産官学（産業界、国や地方自治体、大学や研究機関）が連携。この連携によって生み出される研究成果を活用して、新たなビジネスや産業を創り出す**「知的・産業クラスター」**の形成を進めています。また、国内外の研究機関や民間企業等を沖縄県に誘致して、**国際研究ネットワーク**を構築することを推進しています。


沖縄科学技術大学院大学のナノ粒子技術研究ユニット（OIST/Togo）

さらに人材育成にも力を入れています。沖縄の将来を担う子どもたちに、理数科目のおもしろさや楽しさを体感できる機会を増やしています。科学に対する興味を引き出し、子どもたちが自発的に成長できる環境づくりにも力を入れています。